

社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会(平成26年度第4回)
議事概要

1. 日 時 平成27年 3月 3日(火) 15:00~16:30

2. 出席者

〈委員〉

溝上章志委員長、池内比呂子委員、泉健子委員、大枝良直委員、長安六委員、河西宏委員、吉武哲信委員

3. 議 題

新規事業採択時評価

《対象路線》

・一般国道3号(南九州西回り自動車道)阿久根川内道路

4. 議 事

〈委員からの主な意見等〉

○一般国道3号(南九州西回り自動車道) 阿久根川内道路

- ・津波浸水リスクが存在する当該地域において、災害時の緊急輸送道路として有効。
- ・南九州西回り自動車道最後の未事業化区間であり、観光、交流による経済波及効果が大きい路線と思われる。
- ・当該道路の整備により現道交通量が減少するため、整備時の地域づくりや道路の使い方を考えておく必要がある。
- ・地域活力維持のため、「道の駅」のような集客施設等も合わせて考えるべき。
- ・(一般論として) 本件の様に段階的に整備が進められてきた事業については、路線全体の便益も説明されるとよい。
- ・今後、事業を行うにあたっては、費用について更なる精度向上に努められたい。
- ・一般国道3号(南九州西回り自動車道)阿久根川内道路の新規事業化は妥当。

以上